

感染症の流行・発生状況について  
2024年第39週(9月23日～9月29日) 診断分

● 警報・注意報(県全体)

警報	なし
注意報	インフルエンザ

● 疾患別警報レベル・注意報レベル(各保健所)

警報レベル	注意報レベル
・咽頭結膜熱 (八重山保健所管内)	・インフルエンザ (北部、中部、那覇市、南部、宮古、八重山保健所管内)

● 2024年第39週全数報告について(南部保健所管内)※先週までの報告からの追加も含む

《二類感染症》	《五類感染症》
・結核 2件	・急性脳炎 1件
	・劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件
《四類感染症》	・侵襲性インフルエンザ菌感染症 2件
・レプトスピラ 1件	・侵襲性肺炎球菌感染症 1件
	・梅毒 1件
	・百日咳 2件

● 南部保健所からのお知らせ

「手洗い」、「咳エチケット」、「換気」等の感染予防策の実施にご協力よろしくお願いします。

①インフルエンザ  
感染症発生動向調査による本県の定点からの報告数が、2024年第39週で定点当たり17.18人(報告数962人)となり、注意報発令基準値である10人を上回り、引き続きインフルエンザ注意報発令中です。  
南部保健所管内においては、2024年第39週で定点当たり26.21人となり、第35週以降継続して注意報の基準値を上回っております。

②百日咳  
南部保健所管内における百日咳の報告数は2024年第39週時点で延べ11件であり、過去5年度の年間報告数に比べて最も多くなっております。  
百日咳は百日咳菌による急性気道感染症です。コンコンと連続的な激しい咳こみや、息を吸うときにヒューという音を伴う特徴的な咳が長時間続きます。成人や定期予防接種済の方が感染した場合は、症状は典型的でなく軽症のことがあります。乳児が重症化すると無呼吸を起こしやすく、死につながるおそれがあります。

発熱、長引く咳など体調不良時には、かかりつけ医に相談、受診もしくは、受診医療機関に迷う場合は、「おきなわ#7119電話相談」(#7119 若しくは 098-866-7119)へご相談ください。

※定点医療機関とは、インフルエンザなどの感染症について、患者の発生情報を提供する医療機関のことです。定点1医療機関あたりの平均報告数で、感染症の流行状況を把握しています。

沖縄県全体報告数

疾病名	定点区分	36週	37週	38週	39週	39週
		9/2	9/9	9/16	9/23	(定点あたり報告数)
インフルエンザ	インフルエンザ	626	925	962	962	(17.18)
咽頭結膜熱	小児科	19	7	12	16	(0.50)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	59	81	75	48	(1.50)
感染性胃腸炎	小児科	70	62	43	69	(2.16)
水痘	小児科	0	9	4	4	(0.13)
手足口病	小児科	41	62	72	88	(2.75)
伝染性紅斑	小児科	0	3	0	0	(0.00)
突発性発疹	小児科	7	9	5	5	(0.16)
ヘルパンギーナ	小児科	4	5	5	4	(0.13)
流行性耳下腺炎	小児科	3	3	2	1	(0.03)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	5	6	5	1	(0.11)
細菌性髄膜炎	基幹	1	1	0	1	(0.14)
無菌性髄膜炎	基幹	0	0	0	1	(0.14)
マイコプラズマ肺炎	基幹	13	5	5	6	(0.86)
クラミジア肺炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)
RSウイルス感染症	小児科	7	2	8	3	(0.09)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	0	0	0	0	(0.00)
COVID-19	COVID-19	143	115	114	118	(2.11)
ヒトメタニューモウイルス(hMPV)感染症						

南部保健所管内報告数

36週	37週	38週	39週	39週
175	283	336	367	(26.21)
3	3	1	2	(0.25)
17	21	26	17	(2.13)
22	13	13	26	(3.25)
0	6	0	0	(0.00)
13	22	13	22	(2.75)
0	0	0	0	(0.00)
1	3	2	0	(0.00)
1	1	3	1	(0.13)
0	0	0	0	(0.00)
0	0	0	0	(0.00)
0	0	0	1	(1.00)
0	0	0	0	(0.00)
2	0	1	1	(0.13)
0	0	0	0	(0.00)
0	0	0	0	(0.00)
49	49	34	36	(2.57)
0	0	0	0	(0.00)

警報

※クラミジア肺炎については、オウム病を除く。